

■ 以下から**ひとつ**選んで論じなさい。書き始める前に、①～④のいずれかを表記してはじめてください。

①権力について、講義に沿ってその3つの種類をそれぞれ説明せよ。その上で、行動経済学がアーキテクチャに適応され得る現状について、その可能性と課題を指摘し、個人がこの問題に取り得る対処について論述せよ。

②うわさ、デマ、都市伝説について、それぞれ各1つ事例を用いて説明し、これらが拡散する背景について、中間集団理論から導出せよ。その上で、ネットやSNSは中間集団の復権をなし得るか否か、論述せよ。

③日本の音楽・動画産業を、講義に沿って世界と比較し、日本の産業構造改革の遅れを説明せよ。その上で、日本社会がとり得るべき対応を論述せよ。

※実現可能性を考慮すること。単に「こうすればいい」といった絵空事、感想レベルの論述は認めない。なお、③は他の問題に比較して説明が容易であることから、採点基準は厳しくする。

④VRとAR技術がもたらした現代における空間の個人化とは何か、講義で扱った事例を用いて説明せよ。次にVRとAR技術が我々の社会にもたらす可能性と課題について、メタバースを含めて指摘し、この技術が導き得る社会像について論述せよ。

※論述せよ＝論理的理由を伴う主張を書くこと。

※なお、記述にあたっては講義内で使用したレジュメ、および講義で話した内容、レジュメ内で参照された記事以外の「知識」の記述は認めない。また、生成AIを利用も認めない。

→生成AIの利用有無を確認する意味も込めて、講義以外の知識の記述は認めない。講義で示された知識から、あなたが思考を巡らせ、知識と格闘した内容を書いてください。

■ 注意事項

- ・文字数は1700字以上4000字までです。
- ・提出期限は7/30(23:59分)。大学システムの大規模なクラッシュがない限り、原則として問い合わせには応じません。

※質問がある人は講義終了後にしてください。メール等での質問は、場合によっては応じられない可能性があることを念頭に置いておいてください。

・提出にあたっては、最終講義終了後すぐ、Moodleに「最終レポート提出先」と題した提出先を設置するので、そこから提出してください。

- ・提出はいつもの講義課題と同じように、直接記述した上で、最後に
(文字数●●字)

と表記してください。

→なお、文字数は以下のサイトから調べられます。

<https://phonypianist.sakura.ne.jp/convenienttool/strcount.html>

※word等での提出でないのは

①ひとつひとつwordを開いた採点は教員の負荷が高いこと

②word等の準備がない学生等への考慮。

文字数を調べたりと面倒かもしれませんが、ご協力ください。

・ネット上の文章をコピーする行為（コピペ）が発覚した場合は0点になりますので、絶対にしないでください。また、配布した各講義資料（PDF）の言葉や定義はそのまま使用して構いませんが、基本は自分の言葉で書くことを念頭に置いてください。

■「説明」と「論じる」ことについて

・レポートの採点基準は、教員に対してではなく、**「この講義を受講していない友人にあなたが書いたものを読ませて理解できるかどうか」**を問います。故に、自分の言葉で説明できているかを問います（ただし、です・ます調ではなく、である調で記述すること）。

→専門用語を説明無しに利用するケースが目立ちます。友達はその言葉を聞いて、理解できるかどうかを考えてください。

・説明とは、この講義で学んだことを自分の言葉でまとめて提示することです。要約と言い換えても構いません。

・レポートで求める「論じる」とは、習ったことを「説明」するだけでなく、自分で思考した内容を相手に「説得的」に記述することを指します。それは単なる「感想」ではなく、講義内で学んだ知識を吟味し、論理的にある結論を導くことです。社会人にとっては「論じる」ことができるかどうかが強ク問われます（脱マニュアル）。

・レポートでは、すべてを解決できるような画期的な解決法を求めています。そうではなく、学んだ知識を利用して、自分でいかに考えたか、知識と格闘したかを評価します。

→そのため、レポートでは講義で扱ったこと以外の出来事を調べて記述することは認めません（生成AIの有無の確認にもなります）。逆に言えば、講義で学んだこと以外の知識で穴埋めするのではなく、講義内の知識から、自分で思考を深めてください。外からの知識を検索するのではなく、自分の中で知と格闘してください。学問の真髄はそこにあります。

以上です。短い間でしたが、ありがとうございました。後期も履修予定の方は、今後もよろしくお願いします。

■解説

読めば分かる通り、講義に出席した学生だけが問題意図と回答すべき内容がわかるようになっている。講義では毎回レジュメを配布しているが、レジュメを読んだだけでは点数は取れない仕組みにしているので、真面目に受講する必要がある。